

# 健康寿命の延伸につながる地域づくり活動を 「見える化」「地域ぐるみ化」する中間支援活動事業

平成28年2月22日

銚子円卓会議

# 1. 事業実施地域の課題



## ◆千葉県銚子市◆

人口 65,447人 世帯数 27,673世帯

\*平成28年2月1日現在

- ◎冬暖かく、夏涼しい海洋性の気候
- ◎美しい景色 / 犬吠埼 屏風ヶ浦 銚子ジオパーク 日本一早い初日の出
- ◎食の恵み / 日本一の銚子漁港・農業生産地・醸造業
- ◎スポーツ（野球・ハーフマラソン・トライアスロン）・音楽（各高校～出身者による楽団）

- 平均寿命 男女とも千葉県内ワースト1 男性：77.8歳、女性：84.9歳
- 人口減少率が加速 減少率 8.23%（前回 6.25%） 減少者数 5,775人 ※国勢調査
- 地域内連携の弱さをたびたび指摘される 銚子川口てんでんしのぎ

⇒平均寿命を延ばすだけでなく「健康寿命」の延伸につながる取り組み推進が必要。

# 参考：事業実施地域の背景



銚子市・銚子市教育委員会・銚子市小中学校校長会・千葉科学大学  
銚子商工会議所・（一社）銚子市観光協会・銚子信用金庫・銚子商工信用組合  
（一社）銚子青年会議所・銚子商工会議所青年部・NPO法人BeCOM

本事業により、銚子円卓会議の強みを活かして  
健康寿命の延伸という地域課題の解決につながる多彩な地域づくり活動＝  
担い手活動と、それを支える仕組みを「見える化」「地域ぐるみ化」する。



- ・地域づくり活動が継続的に実践される。
- ・地域づくり活動に興味を持つ人、応援する人が重層的に増える。
- ・地域の課題解決に向けて、市民協働で取り組む体制ができる。
- ・横のつながり、助け合える関係性が生まれやすくなる。
- ・まちづくりを自分の事とを感じる人が増える。
- ・魅力的なまちをつくるプロセスが魅力的になる。



# 参考：事業実施地域の背景



銚子には、ご当地WAONカード「犬吠WAON」を活用した  
域内消費喚起にも、寄付にも活用できる電子地域通貨「すきくるスター」があります。

市内の商店・事業所など加盟協力店で買い物をした場合、200円で1スター（1スター=1円）  
が貯まります。貯まったスターは、協力店での商品購入に利用することもできますし、  
地域づくり活動へ寄付することもできます。

## ☆すきくるスターの利用方法

### ☆お買い物で使う！

加盟協力店で利用する  
(1スター=1円)

### ☆寄付をする！

地域づくり活動に  
寄付をする



寄付専用情報端末  
市内14か所に設置



犬吠WAONカードでの  
商品購入



消費者／寄付者



☆すきくるスターの発行  
(200円で1スター)

## 2. 事業概要



### (1) 事業の実施体制 ① 銚子円卓会議メンバー・役割分担

構成主体	役割（中間支援の内容）
銚子市	事業全体の企画・運営、広報支援を担うとともに、各担い手の具体的な相談内容のまとめ、円卓会議への提示を行う
銚子市教育委員会	多様な「地域づくり活動」の理解促進のための広報支援、助言、情報提供、情報交流の場づくり支援等を行う
銚子市小中学校校長会	
千葉科学大学	
銚子商工会議所	若手経営者を中心としたしくみの理解促進、地域通貨の財源となる事業者への理解の浸透に取り組む
銚子信用金庫	担い手の取組や寄付状況が見えるサイト等広報支援、ワークショップの開催支援、活動団体への個別支援の検討などを行う
銚子商工信用組合	
(一社) 銚子観光協会	多様な「地域づくり活動」の理解促進のための広報支援、助言、情報提供、情報交流の場づくり支援等を行う
(一社) 銚子青年会議所	若手経営者を中心としたしくみの理解促進、地域通貨の財源となる事業者への理解の浸透に取り組む
銚子商工会議所青年部	
NPO法人BeCOM	地域通貨からの寄付促進支援、担い手の取組や寄付状況が見える広報の支援、ワークショップの開催支援を行う

## 2. 事業概要

### (1) 事業の実施体制 ② 担い手の概要 及び 取組内容



担い手	これまでの活動内容	本事業で新たに取り組む内容
海と月の グリーンマーケット in 銚子	オーガニックカフェの経営、 料理教室の主宰、オーガニック 食材やオーガニック製品を 扱うマーケットの開催	マーケットの規模拡大を通して「食の 重要性」への意識喚起等を呼びかけな がら、ライフスタイルを提案・サポー トするコミュニティビジネスモデルの 構築。



## 2. 事業概要

### (1) 事業の実施体制 ② 担い手の概要 及び 取組内容



担い手	これまでの活動内容	本事業で新たに取り組む内容
(有)銚子海洋研究所	イルカ・クジラウォッチングの経営、小学生を対象とした海洋体験学習の支援、学生を対象とした海洋生物に関する講演や講義の実施	小学生の子どもを対象とした無料体験乗船プログラム「銚子の海を知ろう！感じよう！」による銚子の海の魅力の再発見と再発進。



## 2. 事業概要

### (1) 事業の実施体制 ② 担い手の概要 及び 取組内容

担い手	これまでの活動内容	本事業で新たに取り組む内容
NPO法人 銚子スポーツコミュニティ	犬吠埼エンデューロ大会の企画運営、スポーツイベント（トライアスロン大会、ハーフマラソン大会等）の運営補助ほか	自然景観を活かした新しいサイクリングイベントの開催とそのPR促進による地域経済活性化。



## 2. 事業概要

### (2) 事業のスキーム

取組 1 :  
専門性を活かした助言、  
情報提供

取組 2 :  
地域通貨からの寄付状況や  
活動団体の取組の見える化

取組 3 :  
ワークショップ開催による  
地域ぐるみ化



#### ■ 事業推進支援

事業推進の過程でおこる様々な  
行きづまりへの、相談対応、助言や  
情報提供、ネットワーク力を活かした  
各種コーディネート・  
企画支援。

#### ■ ファンドレイジングを伴う 広報活動支援

寄付(応援者)を募る仕組みを活用  
することに加え、地元紙、地元TV  
インターネットサイト、チラシの  
作成・配布等PR支援。

#### ■ 当事者意識の醸成と、横の つながり創出支援

多世代交流型のまちづくりワー  
クショップを通して、市民と活動、  
活動者間のつながりを創出  
する地域ぐるみ化。

### 積極的に課題解決に取り組む担い手活動



# 3. 各取組の概要

## ① 取組 1：各構成主体の専門性を活かした助言、情報提供を行う

### ◎ 取組の概要

担い手団体からの要望ごとに個別に対応しつつ、月1回程度開催される「銚子円卓会議」で多様な構成主体の専門性を活かした助言や情報提供、情報交流を行い、担い手団体のビジネスモデルの構築を目指す。

### ◎ 構成主体・役割（中間支援の内容）

構成主体	役割（中間支援の内容）
銚子円卓会議の全構成主体	地域づくり活動の理解促進のための助言、情報提供、情報交流の場づくり支援等



# 3. 各取組の概要

## ① 取組 1：各構成主体の専門性を活かした助言・情報提供

### ◎ 取組の成果・課題

### 信用金庫業界内への広報活動「しんきん情報共有プラットフォーム」への掲載（H27.11掲載）

#### ◆ 成果

日本全国にある267信用金庫（店舗数7,398店、役職員数111,477人）に対して情報発信の場面と機会を提供できた。今後は効果的な実績に繋がることを期待したい。

#### ◆ 課題

登録情報の閲覧を待っているだけでは、期待する効果を得る事は難しいと考えるので、更に一歩進んだ取組みとして、全国の200信用金庫が実施している団体旅行（年間：270件、11万人）の誘致と併せた情報発信や、違ったチャネルでの業界ネットワークを活用した利用促進の実施が課題となる。



### 3. 各取組の概要

#### ① 取組 1：各構成主体の専門性を活かした助言・情報提供

##### ◎ 取組の成果・課題

##### 担い手に対する個別の助言・情報提供・支援

##### ◎ 海と月のグリーンマーケット in 銚子

- ・ P R用チラシに銚子円卓会議の事業支援を明記し、イベント内容を関係団体等へ広く周知
- ・ 当日の来場者駐車場の調整・確保、警備のため千葉科学大学学生警察支援サークルスターラビッツを紹介
- ・ 会場内に地域通貨の寄付端末を設置。担い手の活動や寄付の仕組みを P Rし、寄付を集めた

##### ◎ 有限会社銚子海洋研究所

- ・ 小学生を対象とした体験乗船事業（小学生クルー事業）の支援  
※募集要項の作成、プログラム内容の検討（特に出航できない際の対策）、参加者とりまとめ、連絡調整、当日のサポートなど（銚子市地域協働課及びNPO法人BeCOM、銚子市教育委員会、銚子市小中学校校長会）

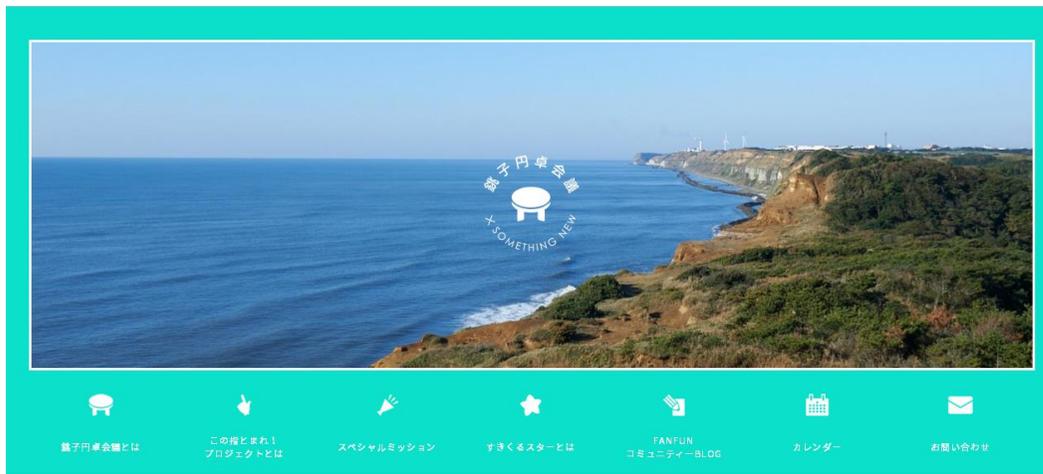
##### ◎ NPO法人銚子スポーツコミュニティ

- ・ （一社）銚子市観光協会が中心となり、事業内容の相談、連絡調整、実施のスケジュール調整、観光協会関連会議等での開催 P R、ラン&サイクルステーションの協力依頼

# 3. 各取組の概要

## ① 取組2:地域通貨からの寄付状況や活動団体の取組の見える化

### 1) インターネットサイト (スマホ対応) の構築による広報支援



<http://choshientaku.com/>



#### 2015年度スペシャルミッション「健康寿命の延伸」

今年度、鏡子円卓会議では、地域課題の一つである健康寿命の延伸に向けて活動する担い手団体を「見える化」「地域づくり化」する中間支援活動に取り組んでいます。



### ◆ウェブサイトの掲載内容 (抜粋)

鏡子の海を知ろう!!感じよう!!

事業主体

有限会社鏡子海洋研究所

地元の子供達に鏡子の海の素晴らしさ、そこに思づくたくさんの生き物達を知ることで、自分達の住む郷土の素晴らしさを知ってもらいたいと思い、申請致しました。内容としましては、子供達に実際に船に乗ってもらい、普段なかなか見ることのない海から鏡子半島を見てもらったり、さまざまな海の生物の住む“海”を感じてもらいます。

URL : <http://www.choshi-iruka-watching.co.jp/>

facebook : (有) 鏡子海洋研究所

紹介動画 : <https://youtu.be/wHNv0RlvwAQ>



寄付スターの使い方

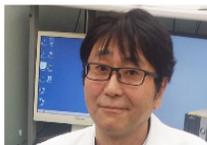
子供達の体験乗船燃料費

▶ 目標とする寄付スター数	150,000円
▶ 今年度寄付スター状況	2,385円

新着情報

- 2016年2月12日 2月13日(土)小学生クルーの皆さんは午後3時までに集合です!
- 2016年2月8日 「あしたも、のりたいです。」
- 2016年2月6日 小学生クルー事業、本日も初回!
- 2016年1月27日 まちづくりワークショップに参加しませんか?
- 2016年1月22日 「小学生クルー」応募状況のお知らせ\_0122

健康アドバイス



浅利クリニック 浅利俊彦先生の健康アドバイスです。(クリックでPDFが開きます)

- ・一人一人の幸せのために
- ・感動体験と健康へワクワクしよう!
- ・食こそ基本!〜よく噛んで食べよう。
- ・身体を動かそう!
- ・社会参加と健康!



2015年度 スター発行総数

28,056,419 スター

店舗使用スター数

25,841,456 スター

寄付スター数

9,175 スター

流通スター数

2,205,788 スター

最終更新日:2015年12月25日

# 3. 各取組の概要



## ① 取組2:地域通貨からの寄付状況や活動団体の取組の見える化

### 2) ローカルクロスメディアを活用した広報支援



地元ケーブルテレビ、地元日刊紙が同時期に一つの活動を取り上げて報道するスタイルで実施。

- ・ 地元ケーブルテレビ（10分間：月90回程度放映）により、担い手のインタビュー、活動と関連するテーマでの地元医師による健康アドバイス、地域通貨「すきくるスター」の寄付速報について5か月間毎月異なった内容を放映した。
- ・ インタビュアーを地元高校生（市立銚子高等学校生徒会長）にすることで、10代のまちづくり参画の機会につなげ、視聴者に新鮮な印象を与えることで活動への興味、関心を高めることにつながった。
- ・ 担い手の活動や健康寿命の延伸というテーマに関連した医師による健康アドバイスのコーナーを設け、専門的な知識の向上に努めた。
- ・ 地元日刊紙では、担い手の活動紹介、地域通貨からの寄付速報、円卓会議の活動状況などを掲載。地元購読者（市民（近隣市を含む）や企業など）に対し広報・PR活動を行った。

### 3) リーフレットの作成と多様な配布方法の検討



- ・ 担い手の活動間をつなげるリーフレットを作成
- ・ 各構成主体が特長的な配布を実施。

例：

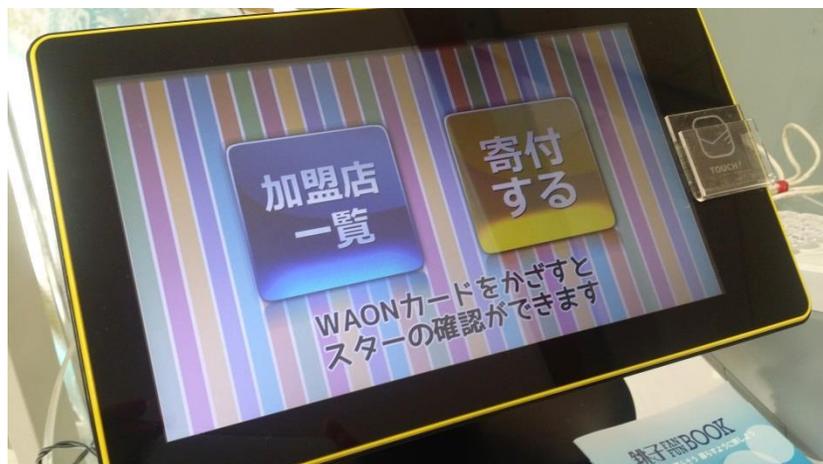
銚子市・銚子市教育委員会⇒成人式

金融機関⇒A T M脇コーナー

NPO法人 B e C O M⇒学生対象スピーチ大会

市内事業者・イオン銚子店による消費者への配布

### 4) 直感的に使える寄付端末への進化



- ・ より簡単に、誰でも使える寄付端末に。

改善点：

- かざすだけで、現在のスター数を表示
- 過剰な情報を削除、寄付と加盟協力店情報のみに特化
- 「さわる」気になるインターフェイス
- 10分動きがないと、動画で寄付先情報が流れる

# 3. 各取組の概要

## ① 取組3：ワークショップによる地域ぐるみ化

### 第1回まちづくりワークショップ（8月21日）



**まちづくりワークショップ**

2015 第1回/3回開催予定

「自分」と「地域」のミライをつくる

**まちづくりワークショップ開催のお知らせ**

地域通貨「すきくるスター」を寄付して応援できる『この街とまれ!プロジェクト』をご存じですか? 現在、スポーツ、食、地域性を活かした感動体験など特色のある活動団体が寄付を募っています。

今回のワークショップは、寄付先それぞれの活動を知っていただくこと、さらに活動上の「課題」について、高校生を含む参加者の皆さんと一緒に解決の糸口を探るプログラム内容となっています。多様な視点で話し合うことで、活動に新たなひろがりが見え、ひいては社会の変化へとつながり実を結んでいく...。そんなワクワクとする豊かな想像がふれる時間を、一緒に過ごしませんか? 皆さまお話し合わせの上、ぜひご参加ください!

日時 8月21日(金) 18:00-19:45  
会場 銚子市保健福祉センターすこやかなまなびの城 2階会議室  
講師 関谷昇氏  
(千葉大学准教授、銚子円卓会議アドバイザー、銚子市ごごと・ひと・まち創生協議会会長)

定員 80名  
\*参加費は無料です。ただし、事前の参加登録をお願いしています。

■参加登録 ■8月18日(火)午後5時までに下記記入の上、FAXまたはE-mailでお申込みください。  
返信先: 銚子市役所地域協働推進班 宛  
FAX: 0479-25-0277 E-mail: kyoudou@city.choshi.lg.jp

お問い合わせ (ご連絡担当者)

所属とご連絡先

人数 名 \*グループ分け等準備の都合上、皆さまのお名前、所属を別紙にご提出ください。

MEMO

◎お問合せ事務局◎

銚子市秘書市民部地域協働課

協働推進班 (八角、林)

TEL: 0479-24-8794 (直通)

銚子円卓会議 銚子市 銚子市議会(会派) 銚子市職労連合 銚子市職労連合 銚子市教育委員会 銚子市青年会議所 銚子市青年協議会 銚子市青年協議会 千葉大学  
 銚子市青年協議会 銚子市青年協議会 (一) 銚子市青年協議会 (二) 銚子市青年協議会 銚子市青年協議会 銚子市青年協議会 銚子市青年協議会

- 高校生 20 名を含む、市内外から 72 人が参加。
- 銚子市の健康寿命の延伸につながる地域づくり活動団体の内容と地域通貨「すきくるスター」からの寄付による活動支援の仕組みを紹介。
- グループ討議では、地域づくり活動団体の課題解決につながる具体的な取組や今後の事業の成長・発展につながる方策を検討するなど、参加者ひとりひとりが思いを真剣に出し合い議論を行った。
- 講師を努められた関谷昇氏（千葉大学法政経学部准教授 銚子円卓会議協働アドバイザー）から参加者に、「まちづくりを活性化するために一番大切なことは想像力であり、想像力が欠如していると課題も見えなくなる、色々な想像力を駆使してモノを見る、ヒトを見る、将来を見ること、想像力を膨らませて考えることが、まちづくりには必要。地域づくり活動団体の活動を知り、魅力や可能性を探っていくとともに、このような活動を市民がお互いに支え合えるかどうか、まちづくりを妨げる目に見えない壁をどのように乗り越えていけるかについて様々な意見を出し合い、協力体制、応援体制を構築していきたい。」とアドバイスをいただいた。

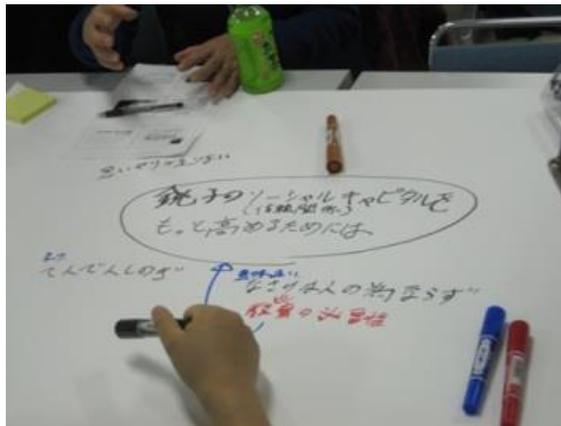
# 3. 各取組の概要



## ① 取組3：ワークショップによる地域ぐるみ化

### 第2回まちづくりワークショップ（11月22日）

#### ★ドクター孫と考える 銚子のまちづくり×医療ワークショップ



「自分」と「地域」のミライをつくる  
銚子円卓会議  
第2回まちづくりワークショップ  
ドクター孫と考える  
銚子のまちづくり×医療ワークショップ

国文省地域づくり活動支援体制整備事業

2015年11月22日(日)  
13:30~16:15 ■参加費無料

場所 千葉科学大学マリーナキャンパス  
看護学部棟1階 6102講義室

銚子円卓会議が主催する今年度2回目の「まちづくりワークショップ」は、総合診療医の大輔氏をお招きして開催します。今回は、「健康」をテーマに、医療、看護、介護等の分野を将来の職業選択に含めている高校生、大学生を中心に、多様な現場で地域づくりに関わる大人と一緒に、銚子のまちづくりを考えていきたいと思います。  
真なる世代や立場の人が関わり合い、語り合うことで、想像が広がり、気づきが生まれ、それぞれがもう一歩踏み出す「きっかけ」にできる、そんなプログラムになっています。  
「自分」と「地域」の未来にワクワクする時間を一緒に過ごしませんか？ご参加お待ちしております。

講師 孫 大輔 氏  
日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医専門医  
東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター講師  
2010年東京大学大学院医学部、精神科医から家庭医に転向し、医療福祉  
生活圏学医学生理学センター（CFMD）を創設、  
関心した。臨床研究、医学教育に携わりながら、家庭医としても活動。  
2011年より市民・学生と協働プロジェクトに所属  
である場「みんくるカフェ」を毎月運営している。

お問い合わせ / 銚子市総務市民部地域協働課 協働推進班 (八角・林) tel.0479-24-8794  
主催 銚子円卓会議 銚子市・銚子商工会議所(一社) 銚子市観光協会・銚子市学校教育委員会・銚子市中小学校校舎会・千葉科学大学  
主幹 銚子円卓会議 銚子市・銚子商工会議所(一社) 銚子市観光協会・銚子市学校教育委員会・銚子市中小学校校舎会・NPO法人B&COM

●医療、看護、介護等の分野を将来の職業選択に含めている高校生や大学生と多様な現場で地域づくりに関わる大人と一緒に銚子のまちづくりを考えた。また、地域通貨「すきくるスター」の寄付で応援できる担い手の活動状況も改めてご紹介することができた。

- ①銚子ソーシャルキャピタルをもっと高めるには？ ②住民主体で地域の課題に取り組むためには？ ③銚子の人々が健康で幸せに暮らし続けるためには？のテーマでワークショップを行った。

●円卓会議として、特にこの回のワークショップ参加を通して、医療、看護、介護等の分野を将来の職業選択肢に含めている高校生、大学生と、実際に多様な現場で地域づくりに関わる大人に関わっていく機会とすることを試みた。テーブルファシリテーターは、千葉科学大学看護学部教授をはじめ、銚子市高齢者福祉課等職員、社会福祉士や、銚子市内で医療、看護、介護関係者を中心に開催されているケアカフェの主宰者、スタッフの方々に担っていただいた。

# 3. 各取組の概要



## ① 取組3：ワークショップによる地域ぐるみ化

### 第3回まちづくりワークショップ（1月29日）

#### ★健康に暮らし続けることができる地域のミライ図をつくろう



「自分」と「地域」のミライをつくる  
 銚子円卓会議  
 第3回まちづくりワークショップ

**健康に暮らし続けることができる  
 地域のミライ図をつくろう**

国交省地域づくり活動支援体制整備事業

2016年1月29日(金)  
18:00~20:00 ■参加費無料

場所 銚子市労働コミュニティセンター2Fホール

銚子円卓会議が主催する3回目の「まちづくりワークショップ」は、千葉大学准教授の関谷 昇氏をお招きし「健康に暮らし続けることができる地域のミライ図をつくる」というテーマで開催します。市内で実施されている地域づくり活動に対する市長の理解促進（既成の「地域ぐるみ化」を更に知事主体的に考え、行動する人材を育成すること。そして銚子市のしごと・ひと・まち創生総合戦略における基本的視点のひとつである「健康寿命の延伸」につなげ、新しいネットワークコミュニティづくりについて考えていきたいと思います。

異なる世代や立場の人が関わり合い、語り合うことで、想像が広がり、気づきが生まれ、それぞれがもう一歩踏み出す「きっかけ」ができる、そんなプログラムになっています。

「自分」と「地域」の未来にワクワクする時間を一緒に過ごしませんか？ご参加お待ちしております。



講師 関谷 昇氏

千葉大学 法政経学部 准教授、政治学者。  
 専門は、政治思想史・政治学。研究テーマは、思想研究として近代社会契約論、自治の思想、補完性原理、コミュニティ論、社会的実践として、これまでに千葉県・船橋市・流山市・牧野市・山成市・香取市など十数市の自治体において市町村長、市長、自治体長を多く担当し市長や市長候補に就任するとともに、講演・講座・職員研修などを通じて、自治のまちづくりへ向けた積極的な発言を幅広くこなしている。

銚子市しごと・ひと・まち創生推進協議会  
 銚子円卓会議協働アドバイザー（2013年～現在）  
 千葉テレビ「NEWSチバ930」に、コメンテーターとして出演中（月～木）

お問い合わせ / 銚子市総務市民部地域協働課 協働推進班（八角・林）tel.0479-24-8794

主催 銚子円卓会議 銚子市・銚子商工会所（一社）銚子市観光協会・銚子市教育委員会・銚子市中小学校校協会・千葉科学大学  
 主権 銚子円卓会議 銚子信用金庫・銚子職工信用組合（一社）銚子青年会議所・銚子職工会議所青年部・NPO法人BC&C

- まちづくりを実践するにあたり、どうしたら自分の問題として考える人が増えるのか？どのように横のつながりを作り出せるのか？健康のまちづくりを進めていくためになにができるのかというアイデアをワークショップにより明確化し、健康を促進していくためにどんな資源を活かしていくかを考えていただいた。
- 各グループからは、多世代コミュニティや横のつながりの重要性、銚子地域の特性を活かした健康に関連したスポーツイベント等の開催、食生活の改選策など多様な意見が出された。
- 講師を努められた関谷昇氏（千葉大学法政経学部准教授 銚子円卓会議協働アドバイザー）からは、色々な意見を聴くことは楽しく、新たな気づきもある。まちづくりは計画通りにすすめるものではない。大事なのはつながりといっても一定の枠組みに当てはめることではなく、何かと何かの間にいる、間で物事を考えるということが大事だと思う。間を意識していれば、広がりができ、つながりができてくる。結果的に紡がれていくつながりがこれからのまちづくりに大事になってくる。これから銚子市がどういうまちづくりの展開をするのかが楽しみ。円卓会議も今後、色々な仕掛けをしていく予定でいる。今日のグループワークを見ていて、どんどん進化していると実感した。今後のまちづくりについて、それぞれの持っているものを持ち合って進めていければいいと思うとのアドバイスをいただいた。

# 3. 各取組による成果と課題【担い手の活動】

## ◎活動の社会的意義・社会的成果

担い手3つの活動はいずれも、銚子の潜在力を磨き、新たな価値の創造をしようと取り組まれているものであり、暮らす人にとっても、訪れる人にとっても魅力的な事業である。特に、活動をけん引する代表者の地域の未来へ向けた熱い視点と、冷静な行動力は、具体的に交流人口の増加が見込めるものであり、また、まちづくりへの当事者意識を喚起するものでもある。

## ◎地域ビジネスの達成状況・今後の見通し

- ・ (有) 銚子海洋研究所                      4月21日(木)    新社屋完成予定～自然体験教室の正式開講
- ・ 海と月のグリーンマーケットin銚子    6月26日(日)    第6回マーケット開催が決定
- ・ NPO法人銚子スポーツコミュニティ    5月22日(日)    犬吠埼エンデューロ開催決定

## ◎成果達成状況

成果目標	現状	目標	達成状況 (H28.2.14現在)
【(有)銚子海洋研究所】 子どもの体験乗船、年間乗船者数	0名、2,566名	10名、3,000名	<b>57名、2,928名</b>
【海と月のグリーンマーケット in 銚子】 マーケット出店者数、来場者数	27店、200名	30店、300名	<b>30店、315名</b>
【NPO法人銚子スポーツコミュニティ】 ラン&サイクルステーションの設置数、犬吠埼エンデューロ大会のボランティア数	15箇所、0名	25箇所、70名	<b>25箇所、80名</b>
地域通貨からの寄付	0円	230,000円	<b>250,605円</b>

## 4. 各取組による成果と課題【中間支援活動】

### ◎取組の成果・課題

取り組み 1 相談・情報共有

#### ◆成果

- ・担い手からの相談内容に応じ、多様な構成主体が、専門性を活かした助言や情報提供をスピーディに行い、ビジネスモデルの構築を多様な角度から支援できている。
- ・担い手団体からの相談を円卓会議で議論するための手続きのルール化、メーリングリストなどによる情報の共有化が進み、機能しはじめています。
- ・担い手の活動の報道の中で、銚子円卓会議の事業支援が紹介されることで、中間支援活動の広報にもつながった。

#### ◆課題

- ・円卓会議の席上で実際に議論する以前に、各構成主体がネットワークを活かしながら実施、解決しているケースがあり、それらを会議時にすべて情報共有しているとはいえ、「円卓会議としての成果」とは見えずらいことがある。

## 4. 各取組による成果と課題【中間支援活動】

### ◎取組の成果・課題

□取り組み2 □見える化

#### ◆成果

- ・市民の目につくことが多い広報媒体を活用することで担い手団体の活動が市民の間に浸透し、応援者・理解者の増加につながっている。
- ・地域通貨による寄付で担い手を支援するという仕組みの理解にもつながっているため、アクティブホルダー（積極的カード使用者）として、地域通貨発行元とである地元商店・事業所での消費活動を意識的に実践している。
- ・専門家（医師）による健康アドバイスや高校生の取材コーナーも設けるなど事業への参画者を増やす取り組みにもつながった。
- ・能動的な寄付金額が昨年よりも伸びている。

#### ◆課題

- ・本質的に浸透するためには時間がかかるため、継続的に運営できる体制づくりと適切な役割分担が必要である。

## 4. 各取組による成果と課題【中間支援活動】

### ◎取組の成果・課題

□取り組み3 □地域ぐるみ化

#### ◆成果

- ・市民参加型のまちづくりワークショップを通じ、これまで見られなかった多世代交流の場が生まれ、一人ひとりが「まちづくり」や「地域づくり活動」を真剣に考える機運の醸成がみられる。
- ・寄付による支援の仕組みへの理解にもつながり、地域ぐるみ化の促進につながった。
- ・担い手同士につながりが生まれ、自己完結しがちな地域づくり活動がそれぞれに開いていくきっかけとなった。

#### ◆課題

- ・ワークショップのテーマから導き出される答えの具現化

## 4. 各取組による成果と課題【中間支援活動】

### ◎ 銚子円卓会議の成長につながった点／連携より達成できたこと、メリット、効果

- ・ 本事業の実践を通して、担い手の相談に対するワンストップ窓口の機能を有し、専門的知見を持つ多様な構成主体が、多角的な視点のもとで対応できるプラットフォームが必要であることを改めて確認できたこと。
- ・ 地域における「しごとづくり」のみならず、地域課題である健康課題や次世代を担う人材育成にも対応できる体制の構築が進んだこと。
- ・ 地域づくり活動が、応援者を巻き込みながら継続できる方法の一助となるしくみが完成しつつある。
- ・ 地域通貨「すきくるスター」の仕組みの理解促進により、地域貢献型ICTカード（犬吠WAONカード）の使用者（＝担い手まちづくり活動に参加する市民の人数）が増え、担い手への寄付が増加するとともに、地域通貨が地域力・市民力を向上させるツールであることの認識が深まった。

### ◎ 金融機関が加わったことによるメリット

- ・ 銚子円卓会議への信頼感
- ・ 事業継続へ向けた専門性の高い視点とアドバイスがあることへの安心度
- ・ 地域の新たなコミュニティビジネス創造への機運の高まり

## 5. 事業終了後の予定

### ◎活動費の確保

- ・地域通貨を活用したファンドレイジング（資金調達）を実施予定。

### ◎体制の活動の継続に向けた事業展開

- ・上記、資金調達を通して、寄付のしくみの浸透と、地域の未来を自分事と考えるまちづくり人材の発掘・育成、コミュニティビジネス支援体制の構築へ。

### ◎体制の継続・拡充

- ・外部人材等の受け入れの検討（インターンシップ事業）
- ・研修・視察プログラム開発と実践

### ◎新たな担い手に対する支援の事業計画

#### ◆平成28年度

- ・この指とまれ！プロジェクトの募集開始（3月～）
- ・健康寿命の延伸に加えて、新たな集中テーマの設定予定

#### ◆平成29年度

- ・この指とまれ！プロジェクトを通じた中間支援活動の継続
- ・まちづくり人材の育成
- ・コミュニティビジネスの構築